TOKYO MIDTOWN YAESU

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

2026 年 10 月 14 日
一般社団法人八重洲二丁目北地区エリアマネジメント
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

八重洲の歴史と運河のストーリーを光で表現、日本各地の手仕事を載せた船がめぐる「MIDTOWN YAESU CHRISTMAS 2026」開催

過去最大級・高さ約 7m の大型ツリーや街路樹を彩るイルミネーションが新登場

期間：2026 年 11 月 19 日（木）～12 月 25 日（金）

東京ミッドタウン八重洲（所在地：東京都中央区）では、2026 年 11 月 19 日（木）～12 月 25 日（金）の期間、クリスマスイベント「MIDTOWN YAESU CHRISTMAS 2026」を開催いたします。

今年は、かつて運河を通じて人や物が行き交い、物流や交流の拠点として発展した八重洲の歴史に着想を得たイルミネーション「MIRAGE VOYAGE（ミラージュ ボヤージュ） ～きらめきを映す、冬の航路～」が登場。約 40m にわたる空間を「航路」に見立て、日本各地の工芸やものづくりにまつわる「積み荷」を載せた船が八重洲へめぐり着くストーリーを、光・装飾・音で表現します。エリア中央には、過去最大級となる高さ約 7m のクリスマスツリーを設置。ツリーをはじめイルミネーション各所には、円が連なり広がる意匠に、人とのつながりや円満への願いが込められた日本の伝統文様「七宝文様（しっぽうもんよう）」が取り入れられています。光に彩られた航路をめぐり、文化やものづくりが交差する八重洲ならではのクリスマス体験をお届けします。

約 40m のガレリアを、かつて八重洲を行き交った船の「航路」に見立て、光のラインと船のオブジェを配置した「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」イメージ

高さ約 7m のクリスマスツリーと、七宝文様を各所に取り入れた「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」イメージ

また、2026 年は新たに東京駅側の歩道（外堀通り沿い）までイルミネーションエリアを拡大。あわせて、吉岡徳仁氏の作品「STAR」も 2 年ぶりに期間限定でライトアップします。加えて、館内にはアドベントカレンダーをモチーフにした、思わず写真を撮りたくなるポップなフォトスポットが登場するほか、音楽イベントやワークショップなども開催予定です。東京駅直結の利便性を生かし、仕事帰りのひとときや、館内でのショッピング・食事とあわせて、心華やぐクリスマスをお過ごしいただけます。

「MIDTOWN YAESU CHRISTMAS 2026」の見どころ

✓ **NEW｜約 40m のガレリアを「航路」に見立てたイルミネーションが登場**
運河と船で栄えた八重洲の歴史を背景に、約 40m のガレリア全体をひとつの「航路」として演出。水面をイメージしたミラーが光を映し込み、歩くたびに異なる景色が広がります。

✓ **STORY｜日本各地の手仕事を載せた「船」が八重洲へ**
江戸時代に日本各地をつないだ船が、工芸やものづくりにまつわる「積み荷」を載せて八重洲へ。かつて人・物・文化が行き交った街の歴史を、クリスマスのストーリーとして表現します。

✓ **SYMBOL｜人と人とのつながりを描く七宝文様と、高さ約 7m の大型クリスマスツリー**
人と人とのつながりや円満を象徴する「七宝文様」を、ツリーをはじめ空間の随所にちりばめ、エリア中央には、過去最大級となる高さ約 7m のクリスマスツリーが登場します。

約 40m の「航路」を歩いて楽しむクリスマスイルミネーション「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」が登場

1F ガレリアに登場する「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」は、八重洲の歴史と街の記憶をモチーフにしたイルミネーションです。江戸時代、八重洲周辺には運河が張り巡らされ、人や物資が船で行き交う物流・交流の拠点として栄えました。今年の演出では、そんな八重洲と水運のつながりに着目し、「運河」と「船」を空間全体のモチーフとして採用。日本各地の工芸やものづくりにまつわる「積み荷」を載せた船が八重洲へめぐり着くストーリーを表現します。

期間：2026 年 11 月 19 日（木）～12 月 25 日（金）
点灯時間：16:00～23:00　※10 分ごとに特別演出を実施
場所：1F ガレリア

（写真左）「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」で 10 分ごとに実施する、光と音による特別演出のイメージ
（写真右上）**船：**江戸時代に日本各地をつないだ「廻船」から着想。工芸やものづくりにまつわる「積み荷」を載せて八重洲へ
（写真右下）**架け橋：**船やツリーを背景に、クリスマスの情景の一部になれる没入感あふれるフォトスポット

約 40m のガレリアをひとつの「航路」に見立て、船のオブジェや運河に架かる橋、過去最大級となる高さ約 7m のクリスマスツリーを設置。ミラー素材で表現した運河には、天井のイルミネーションが映り込み、水面のようなきらめきを演出します。歩くたびに光の表情が変化し、空間全体で幻想的な世界観をお楽しみいただけます。

橋の上は、ツリーや船を背景に、イルミネーションの世界に入り込んだような写真を撮ることができるフォトスポットに。さらに 10 分ごとに、光と音による特別演出を実施します。航路をめぐるように空間全体の光が変化し、思わず動画で残したくなるようなダイナミックで没入感のあるクリスマスシーンを創出します。

また、ツリーをはじめ空間の随所には、円が連なり広がる形に、人とのつながりや円満、無限に広がる縁への願いが込められた日本の伝統文様「七宝文様」を取り入れています。七宝文様の連続する意匠に、人と人、人と文化のつながりが広がっていく今回のクリスマスの物語を重ね合わせました。

■ 日本各地の手仕事を運ぶ「積み荷」

会場では、船が運ぶ「積み荷」に見立てて、日本各地の工芸やものづくりにまつわるアイテムを展示します。館内テナント「HOSOO TOKYO」のテキスタイルや「津軽びいどろ」のガラス工芸をはじめ、多彩な手仕事や地域文化を紹介。かつて船を通じてさまざまな物や文化が行き交った八重洲の地になぞらえ、日本各地のものづくりとの新たな出会いを演出します。

熊本県の工芸品も、「積み荷」として八重洲へ
2026 年 7 月に発生した令和 8 年熊本地震を受け、東京ミッドタウン八重洲では、被災地支援の取り組みとして、今年のイルミネーション装飾の一部に熊本県の工芸品を取り入れます。募金活動もあわせて実施し、イベントを通じて支援の輪を広げます。東京ミッドタウン八重洲では、これまでもクリスマスを通じて工芸やものづくりの魅力を紹介してきました。今年もその取り組みを継続し、熊本をはじめとする日本各地の文化に触れていただく機会をお届けします。

■ **八重洲と「運河」「船」**

江戸時代、八重洲周辺には運河が張り巡らされ、人や物資が船で行き交う物流・交流の拠点として発展しました。東京ミッドタウン八重洲の外装デザインも、こうした土地の歴史から着想を得ており、風をはらんだ帆を意味する「Billowing Sail」をコンセプトに、船や帆をイメージしています。

「MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～」でも、こうした八重洲と水運とのつながりに着目し、「運河」と「船」を空間全体のモチーフに取り入れています。船のオブジェは、江戸時代に日本各地をつないだ「廻船（かいせん）」から着想を得て、現代的なフォルムにアレンジしています。

吉岡徳仁氏による高さ約 10m の巨大彫刻「STAR」クリスマス期間限定でライトアップ

東京ミッドタウン八重洲の正面エントランス前に設置された、吉岡徳仁氏による高さ約 10m の巨大彫刻「STAR」を、クリスマス期間限定でライトアップします。平和への願いが込められた一つ星の彫刻に、無数のフラッシュライトを照射。ステンレスミラーロッドに光が反射し、見る位置や瞬間によって異なる輝きをお楽しみいただけます。

期間：2026 年 11 月 19 日（木）～12 月 25 日（金）
点灯時間：16:00～23:00
場所：1F 正面エントランス前

吉岡徳仁（デザイナー・アーティスト）

1967 年生まれ。倉俣史朗、三宅一生のもとでデザインを学び、2000 年吉岡徳仁デザイン事務所を設立。デザイン、建築、現代美術の領域において活動。代表作には、東京 2020 オリンピックの聖火リレートーチをはじめ、パリのオルセー美術館に常設展示されているガラスのベンチ「Water Block」、結晶の椅子「VENUS」、虹の教会「Rainbow Church」、ガラスの茶室「光庵」などがある。アメリカ Newsweek 誌による「世界が尊敬する日本人 100 人」に選ばれている。

「STAR」期間限定ライトアップイメージ

ガレリアから外堀通りへ、八重洲の光が街へ広がる「YAESU WINTER LIGHTS」

東京ミッドタウン八重洲の玄関口となる 1F ガレリアでは、「YAESU WINTER LIGHTS」を実施します。空間上部を彩るカーテン状のイルミネーションに加え、2026 年は新たに外堀通り沿いの街路樹イルミネーションも展開。クリスマスシーズン終了後も 2027 年 2 月 14 日（日）まで点灯し、東京駅八重洲口から続く冬の街並みに華やかな彩りを添えます。

ガレリアを彩るカーテン状イルミネーション
「YAESU WINTER LIGHTS」イメージ

2026 年から新たにイルミネーションを設置予定の、
外堀通り沿い街路樹の装飾イメージ

期間：2026 年 11 月 19 日（木）～2027 年 2 月 14 日（日）
点灯時間：16:00～23:00
場所：1F ガレリア、外堀通り沿い歩道

「MIDTOWN YAESU CHRISTMAS 2026」開催概要

開催期間：2026 年 11 月 19 日（木）～12 月 25 日（金）
※「YAESU WINTER LIGHTS」は 2027 年 2 月 14 日（日）まで
開催場所：東京ミッドタウン八重洲 1F ガレリア・アトリウム ほか
主な内容：MIRAGE VOYAGE ～きらめきを映す、冬の航路～／YAESU WINTER LIGHTS／「STAR」期間限定ライトアップ／YAESU MUSIC STREET／ワークショップ等
主催：一般社団法人八重洲二丁目北地区エリアマネジメント
アクセス：JR「東京」駅 地下直結（八重洲地下街経由）、東京メトロ丸ノ内線「東京」駅 地下直結（八重洲地下街経由）
料金：入場無料
公式サイト：https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/special/xmas/（11 月上旬公開予定）

※「MIDTOWN YAESU CHRISTMAS 2026」は、東京都および東京国際文化芸術祭実行委員会が主催する「ARTE TOKYO（東京国際文化芸術祭）」のパートナープログラムです。

※掲載画像はすべてイメージです。
※掲載情報は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

東京ミッドタウン八重洲について

日本全国につながる東京駅に直結し、さまざまなショップやレストラン、オフィス、ホテル、バスターミナル、小学校などが集まるミクストユース型の施設です。

六本木、日比谷に続く東京ミッドタウンブランドとして、その価値を受け継ぎながら、日本の玄関口「東京・八重洲」という土地だからこその施設コンセプト「ジャパン・プレゼンテーション・フィールド～日本の夢が集う街。世界の夢に育つ街～」を掲げ、世界中・日本中から人や情報、モノ・コトが集まり、交わり、新しい価値を生み出し、世界に向けて発信していく街づくりを目指しています。

https://www.yaesu.tokyo-midtown.com/

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「＆マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「ＧＲＯＵＰ MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「１．産業競争力への貢献」、「２．環境との共生」、「３．健やか・活力」、「４．安全・安心」、「５．ダイバーシティ＆インクルージョン」、「６．コンプライアンス・ガバナンス」の６つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】 ・「グループ長期経営方針」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/
・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/